

事業者説明会開催日決定！ 参加しなきゃ損だっ！

横須賀の

石炭火力発電所建設計画

温暖化は？

大気汚染は？

いまさら
石炭？

PM2.5 や
水銀も？

公式に意見を出せる最後のチャンスです！

現在、横須賀市久里浜で「横須賀火力発電所新1・2号機建設計画」が計画されていますが、事業者である(株)JERAが1月19日に環境アセスメントの準備書を公開し、以下のとおり説明会を開催します。法的手続きに則って公式に市民の意見を募集する最後のチャンスとなります。

ぜひ説明会に参加して疑問を投げかけるとともに、意見書を提出しましょう。

 (株) JERA <http://www.jera.co.jp/>

第1回

日時：**2018年1月30日(火) 17:40～19:40**

会場：**ヴェルクよこすか(横須賀市立勤労福祉会館)**
(横須賀市日の出町1-5)

第2回

日時：**2018年2月4日(日) 13:30～15:30**

会場：**久里浜コミュニティセンター**
(横須賀市久里浜 6-14-2〔久里浜行政センター内〕)

環境アセスメントとは

環境アセスメントとは、国の「環境影響評価法」と県の「条例」にもとづいて、大規模な事業を実施する前に環境に与える影響を事前に評価することを事業者を求める手続きです。配慮書、方法書、準備書という段階を経て審査が行われ、住民の意見を聞き、コミュニケーションをとることが求められています。今回は住民の意見が述べられる最後の段階になります。

前回の方法書では、横須賀市長や神奈川県知事も本計画に懸念を示し、準備書にあたっては住民に丁寧に説明するように求めています。

横須賀火力発電所建設を考える会 主催のワークショップ

日時：**2018年2月12日(月・祝)**
14:00～16:00

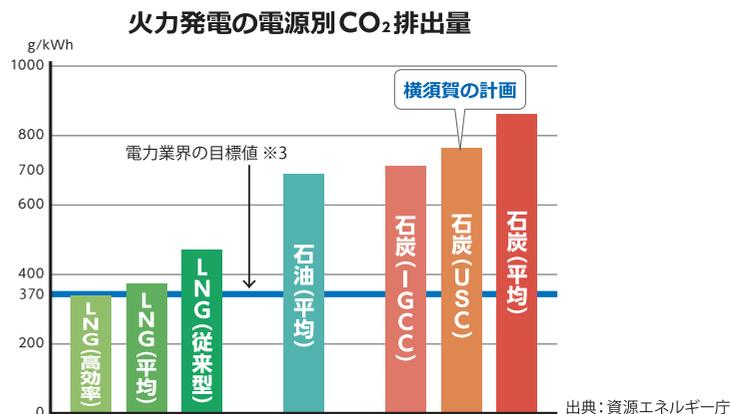
会場：**ヴェルクよこすか(横須賀市日の出町1-5)**

内容：**準備書の解説と学習・意見交換会**

石炭火力発電所の5つの問題

1 気候変動

今、地球環境は激変し、地球の気温上昇によって**異常気象**が多発しています。世界各国は「パリ協定」を締結し、**膨大なCO₂を排出**する石炭火力発電所を止めていく方向にあるのです。石炭火力を建設すること自体が**世界の潮流に逆行**しています。



※1 横須賀火力発電所計画(方法書)のCO₂排出量は760g-CO₂/kWh。
一方、天然ガス火力発電所は、最新コンバインドサイクルで約350g-CO₂/kWh。
※2 石炭ガス化複合発電(IGCC)の使用電力量あたりのCO₂排出量は、約700g-CO₂/kWh程度。
※3 電気事業業界団体の2030年度の排出係数目標(370g-CO₂/kWh)

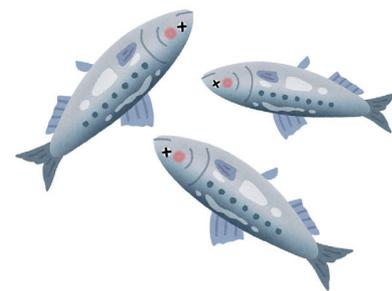
2 大気汚染



石炭を燃やすと、CO₂だけではなく、**硫酸化物(SO_x)、窒素酸化物(NO_x)、PM2.5、水銀**など、**人体に有害な大気汚染物質**が排出され、どんなに性能が良い装置を使っても煙突から汚染物質が出ます。現在も年々ぜんそく患者は増え、呼吸器疾患だけではなく、心筋梗塞や循環器系疾患なども引き起こし、様々な**健康への影響**が懸念されます。

3 温排水や石炭灰

石炭火力発電所からは大量の温排水が排出されます。現在、東京湾は水温の上昇により**生態系**が変わりつつあり、これに拍車をかけることになるでしょう。また、石炭を燃やした後に残る石炭灰には**重金属**が含まれ環境汚染を引き起こします。石炭火力発電ができれば、数十年に渡って発生する**大量の石炭灰**の行き先はどうなるのでしょうか。



4 電気は足りている

日本は、東日本大震災以降、電力需要が10%も減っています。現在も原発は動かずに十分電気は足りています。これから人口減少社会になり、省エネや再エネが進めばますます**火力発電は不要**になります。「現時点で安い」というだけで2023年から動かす石炭火力発電所を作る必要があるのでしょうか。

5 座礁資産

気候変動を引き起こす最大の原因である石炭を燃やすことは今後大きく制限されます。そのため、石炭火力発電所をつくっても「座礁資産」になると言われています。今世界中の金融機関や投資家が石炭事業者からの**投資撤退**を進めており、JERAの親会社、東京電力や中部電力もその対象となる「脱石炭リスト*」に入っています。

* 脱石炭リスト Global Coal Exit List
URL : <https://coalexit.org/database>

未来は自然エネルギー100%の世界へ

今、太陽光や風力、地熱、バイオマスなど**自然エネルギー**は基幹電源として活用できる時代になっています。世界では、**自然エネルギー100%**を目指す国や自治体、企業が増えており、**コストは石炭や原発を大きく下回る**までになっています。日本は大きく遅れをとっていますが、**自然に恵まれた日本こそ自然エネルギー大国をめざすべき**です。



◀ 横須賀火力発電所のことをもう少し知りたい方は、こちらのQRコードから東京湾の会のサイトをご覧ください。

連絡先／解説書請求先：横須賀火力発電所建設を考える会 共同代表 鈴木陸郎
〒239-0843 横須賀市津久井5-17-6
TEL : 046-847-3253 Email : s-riku@jcom.home.ne.jp
URL : <http://nocoal-tokyobay.net/tag/yokosuka/>

協力：石炭火力を考える東京湾の会、気候ネットワーク

※全国の石炭火力発電所計画の問題は「Don't Go Back To The 石炭!」のサイト(sekitan.jp)をご覧ください